青が消える

村上春樹

構造理解 次の空欄にあてはまる語句を本文からそれぞれ抜き出しなさい。

第一段（二三四・1～二三六・15）

1999年の大晦日（おおみそか）の夜、僕が家でひとり〔①　　〕をかけているときに、青が消えた。最初は集中しすぎたせいで視力が一時的に狂ってしまったのだろうと思ったが、何度見直しても青は存在しなかった。かつて青色だった部分はすべて白に変わっていた。ガールフレンドとのハワイ旅行の写真の青い海も、まるで白い広野のようだった。この状況にどう対処したものか、僕には見当もつかなかった。世界中の人間が〔②　　〕を祝う中、僕はガールフレンドと喧嘩別れして落ち込んでいて、ひとりぼっちでいたためだ。僕は年号が2000年になっても世界が変わるわけではないのだから、〔③　　〕と思っていた。

第二段（二三六・16～二三八・7）

僕は青の消滅について情報を得ようと、何人かの友人に電話をかけた。しかし誰もつかまらず、最後に別れたガールフレンドに電話をかけたところ、彼女は賑やかな〔④　　〕の最中だった。僕は彼女に青があるかどうか尋ねるが、青やアイロンがどうしたというような〔⑤　　〕話で他人の楽しみに水をさすなと言われ、電話を切られてしまう。

第三段（二三八・8～二四〇・3）

電話で情報が得られなかった僕は、十一時半、外へ出てみた。すると、何もかもブルーでできていた地下鉄が、何もかも白に変わっていた。その光景は古い記録映画で見たスターリングラードの〔⑥　　〕を思わせた。青がどうなったのか駅員に尋ねると、駅員は「〔⑦　　〕のことは私に聞かないでください」、「もっと偉い人」や「〔⑧　　〕に聞いてください」と言う。僕はあきらめて別の青を探そうとするが、

語句理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 傍線部のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

(1) 静かなコウボウ戦。
(2) 浮沈の激しい人生。
(3) ジャマをしないでくれ。
(4) メイロのような町並み。
(5) オーケストラのシキ者。
(6) コウシュウ電話を探す。
(7) 席を交カンする。
(8) 決勝で惜敗する。
(9) 高らかな歓声。
(10) 没落の悲哀。

2 次の語句の意味を答えなさい。

(1) 茫漠
(2) 辛気臭い

3 次の空欄にそれぞれ適当な語句を入れて、「腰」を用いた慣用表現を完成させなさい。

どこにも見いだせない。時刻は十一時四十五分となった。このまま青の消失を僕以外誰も心配しないまま新しいミレニアムに入ってしまったらなんだかすごく〔⑨　　〕ことが起こるのではないかという気になり、不安が募ってくる。

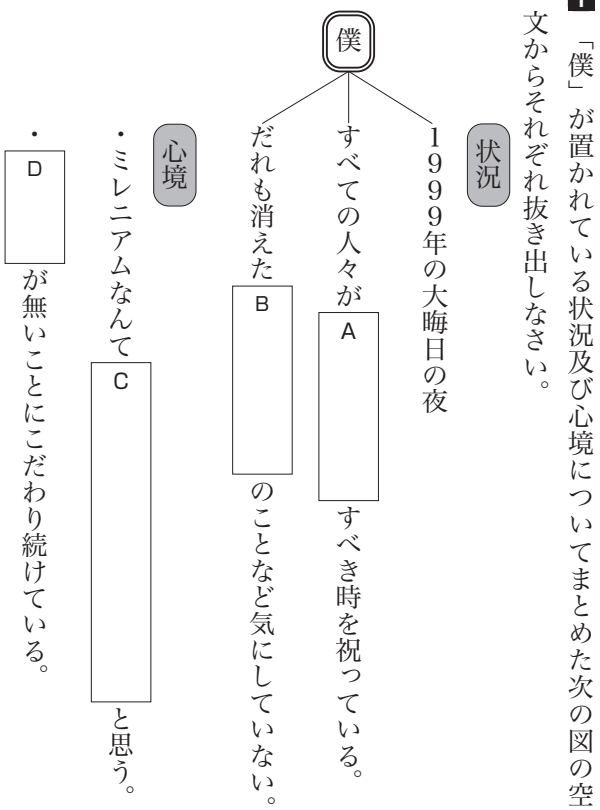
第四段
（二四〇・4〜二四一・15）

僕は電話でコンピューター・システムの総理大臣に青の消滅を訴えた。総理大臣の合成音声は、青は美しい色だが、かたちのあるものは必ずなくなるのが〔⑩　　〕であり、なくなったらまた新しいものを作るのが〔⑪　　〕である、と答える。僕がわけのわからないまま通りを歩いているうちに、やがて時計が十二時を打ち、みんなが一斉に歓声をあげ、ミレニアムがやってきた。誰も消えた青のことなど気にしていなかったが、僕だけは、「でも青がないんだ、」と〔⑫　　〕で言った。青は僕が好きな色だった。

内容理解

1 **次の各問いにそれぞれ答えなさい。**

「僕」が置かれている状況及び心境についてまとめた次の図の空欄にあてはまる語句を、本文からそれぞれ抜き出しなさい。



4 次の空欄にそれぞれ適当な語句を入れて、「水」を用いた慣用表現を完成させなさい。

(1) 水を［　　］＝うまくいっている事柄をじゃまする。
(2) 水に［　　］＝過去をとがめない。
(3) 水を［　　］よう＝大勢の人が静まりかえっているさま。
(4) 水を［　　］＝大きく差をつける。

5 以下のそれぞれの文で用いられている表現技法を書きなさい。

(1) 青いTシャツがあり、青い靴下があり、青いセーターがあり、青いスカーフがある。［　　］
(2) 白いビーチ、青い海、椰子の木。［　　］

(1) 腰＝くってかかるような態度。［　　］
(2) 腰＝自信がなく不安げな様子。［　　］

◇第一段（二三四・1〜二三六・15）

2 青は僕にとってどのような色だったか。次の空欄にあてはまる語句を二三五ページからそれぞれ抜き出して説明文を完成させなさい。

昔から［A］色で、みんなからも［B］と言われていた。喧嘩別れしてしまった［C］と旅行したときの写真にも青い海が写っていて、思い入れがあった。

3 かつて青であった部分は、どのような見た目に変化したか。次の空欄にあてはまる語句を二三五・二三六ページからそれぞれ抜き出しなさい。

(1) 棍棒で［　　］白

(2) まるで［　　］白

(3) まるで［　　］広野

4 **3**の表現からうかがえる僕の心情としてあてはまるものはどれか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　突然自分の力の及ばないところで起きた変化にとまどい、茫然としている心境。

イ　思い出が過去のものでしかないことを感じ取ってあきらめがつき、すがすがしく思う心境。

ウ　自分の大切なものが突然何者かによって変えられてしまったことに対し、激しく怒っている心境。

エ　自分の過去を清算し、新たな思い出作りに向かおうとする希望に満ちた心境。

［　　］

◇第二段（二三六・16〜二三八・7）

5 1999年の大晦日の夜の過ごし方は、「世界中の人間」と僕とでどう異なっていたか。それぞれの心情に触れながら説明しなさい。

［　　］

6 「彼女は半分喧嘩腰で言った。」（二三七・8）とあるが、その理由を二点に分けて説明しなさい。

［　　］

◇第三段（二三八・8〜二四〇・3）

7 「時計は十一時半を指していた。」（二三八・9）、「時計は十一時四十五分を指していた。」（二三九・16）という時刻の描写は、僕のどのような心情の変化を表しているか。端的に示している一文を二三九・二四〇ページから抜き出しなさい。

［　　］

8 青が消えたことに対する、僕と駅員の態度の違いはどのようなものか。次の中から**あてはまらないもの**を**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　青の消失について、僕は自ら状況を探ろうとしているが、駅員は受動的に状況を受けいれている。

イ　青の消失は僕にとっては身近なことだが、駅員にとっては政治の世界の遠い出来事である。

ウ　青の消失は僕にとっては追及せずにいられないことだが、駅員にとっては関わりたくないことである。

エ　青の消失に僕は納得していないが、駅員は偉い人の決定なのだからよいことだと思っている。

◇第四段（二四〇・4〜二四一・15）

9 駅員と総理大臣の合成音声の話し方は、それぞれどのようなものだったか。また、それぞれの言葉を聞いた僕はどのような心境になったか。次の中から適当なものをそれぞれ**一つ**選んで記号で答えなさい。

駅員［　　］　総理大臣の声［　　］

ア　機械の合成音声で冷静に語るのを聞いて、自分がはぐらかされて一人焦っているように感じ、ますますいらだった。

イ　怒ったような激しい口調から、自分以外にも青の消滅に動揺した人がいると知り、落ち着き冷静になった。

ウ　真相を隠すように早口で言う声に、青の消滅が世の中全体に関わる事態なのだと知って、より深刻に感じた。

エ　総理大臣の穏やかな声で青の価値を認めてもらい、青の消滅を食い止めなくてはという勇気を得た。

10 総理大臣の合成音声は、青の消滅をどのように考えるべきだと述べたか。簡潔に説明しなさい。

［　　］

11 「でも青がないんだ、と僕は小さな声で言った。」（二四一・15）とあるが、このときの僕の状況はどのようにまとめられるか。次の説明文の空欄Ⅰ・Ⅱに本文中の一文を抜き出して入れ、A・Cに〔　〕内からあてはまる語句をそれぞれ選んで答えなさい。

これまでに話したガールフレンド、駅員、総理大臣の音声システムは、それぞれ別の理由によって青の消滅を気にするべきではないと言ったが、僕は誰ともA［　　］できなかった。さらに町中の人々も新しいミレニアムを祝うばかりで、B［Ⅰ　　Ⅱ］。そのため僕はC［　　］感を覚えていた。

〔解放　嫌悪　疎外　共感　一体　優越〕

主題理解 本文について述べた次の文の中から、**あてはまらないもの**を**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　僕は個人的で切実な気持ちから青の消滅について知ろうとしたが、駅員には遠い政治の世界の厄介事のように扱われてしまった。

イ　総理大臣を始め、世の中において青は新しいものにとってかわられるものだが、僕にとっては何にもかえがたい大切なものだった。

ウ　僕は元々失恋のために落ち込んでいたが、青の消滅について誰とも共感できなかったことで、さらに世の中からの孤立を深めた。

エ　新しいものばかり大事にするガールフレンドに失望した僕は、思い出と決別し、孤独でも自分の感じ方を大事にしようと決めた。

オ　最初、僕はミレニアムなど大した違いではないと思っていたが、世の中の変化のかげで個人の大切なものが消失したことに気がついた。

［　　］